

契約当事者市町別の相談件数

令和2年度（令和2年4月～令和2年6月）

市町名	R2年度件数	R元年度件数	増減	対前年度比	市町名	R2年度件数	R元年度件数	増減	対前年度比
津市	135	114	21	118.4%	朝日町	5	5	0	100.0%
四日市市	75	55	20	136.4%	川越町	6	8	-2	75.0%
伊勢市	26	23	3	113.0%	多気町	11	6	5	183.3%
松阪市	53	48	5	110.4%	明和町	14	14	0	100.0%
桑名市	34	32	2	106.3%	大台町	6	2	4	300.0%
鈴鹿市	39	43	-4	90.7%	玉城町	10	5	5	200.0%
名張市	29	20	9	145.0%	度会町	3	1	2	300.0%
尾鷲市	2	6	-4	33.3%	大紀町	2	1	1	200.0%
亀山市	15	17	-2	88.2%	南伊勢町	3	4	-1	75.0%
鳥羽市	1	4	-3	25.0%	紀北町	2	14	-12	14.3%
熊野市	10	5	5	200.0%	御浜町	5	4	1	125.0%
いなべ市	14	13	1	107.7%	紀宝町	3	5	-2	60.0%
志摩市	15	13	2	115.4%					
伊賀市	15	26	-11	57.7%	県内不明	24	10	14	240.0%
木曾岬町	1	10	-9	10.0%	県外・不明	30	18	12	166.7%
東員町	4	12	-8	33.3%					
菰野町	19	13	6	146.2%	合計	611	551	60	110.9%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、四日市市、松阪市、鈴鹿市、桑名市の順になっています。

※消費生活苦情相談件数のみの集計です。